



アコヤガイ（二枚貝類ウグイスガイ科） *Pinctada fucata*

大きさ：殻長 5cm ほど。

別名：ベニコチョウガイ

潮通しのいい内湾干潟の岩礫に付着している。

水深が、低潮線～3m ほどの場所で普通にみられる。殻が薄く、ふくらみがある。

ウグイスガイの仲間は、岩礫や刺胞動物に足糸で付着するが、場所が悪いと自ら糸を切って移動する。

効率よくプランクトンなどの浮遊物をこしとって食べ、マベなどは成長の速さでは二枚貝中、屈指である。

この貝は、本真珠の母貝である。本種を含む真珠貝は、他にクロチョウガイ、マベなどが知られ、水産上非常に重要である。

真珠貝の養殖は、沖縄では石垣・西表を中心にクロチョウガイの養殖による黒真珠生産をはじめ、一部、

南洋のシロチョウガイの養殖も導入されている。泡瀬干潟周辺にも、アコヤガイが多く生息する。